

フォトレポート



旧校門前のイチョウ(左手前)は今でも健在(昭和28年旧木造校舎焼失で幹の半分が焼ける)



旧校門(現南門)前に今春の卒業生たち(高55回)が寄贈した校歌の歌碑

【賛助金納入者学年別一覧】

期間：平成14年5月20日～同15年3月31日
は中47回に含む

| 卒回数 | 納入者 | 卒回数 | 納入者 | 卒回数 | 納入者 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 元校長 | 2 | 高1 | | 高22 | 8 |
| 中26 | 2 | 高2 | 17 | 高23 | 10 |
| 中27 | 1 | 高3 | 24 | 高24 | 13 |
| 中30 | 4 | 高4 | 23 | 高25 | 3 |
| 中31 | 6 | 高5 | 35 | 高26 | 6 |
| 中32 | 2 | 高6 | 22 | 高27 | 7 |
| 中34 | 6 | 高7 | 17 | 高28 | 13 |
| 中35 | 2 | 高8 | 30 | 高29 | 10 |
| 中36 | 4 | 高9 | 14 | 高30 | 13 |
| 中37 | 4 | 高10 | 19 | 高31 | 6 |
| 中38 | 4 | 高11 | 26 | 高32 | 16 |
| 中39 | 8 | 高12 | 22 | 高33 | 9 |
| 中40 | 4 | 高13 | 16 | 定1 | 1 |
| 中41 | 6 | 高14 | 12 | 定2 | 1 |
| 中42 | 12 | 高15 | 8 | 定3 | 3 |
| 中43 | 13 | 高16 | 7 | 定4 | 4 |
| 中44 | 10 | 高17 | 11 | 定岩4 | 1 |
| 中45 | 10 | 高18 | 15 | 定6 | 1 |
| 中47 | 27 | 高19 | 14 | 定12 | 2 |
| 中48 | 3 | 高20 | 14 | 定14 | 2 |
| 推薦 | 1 | 高21 | 14 | 定21 | 1 |

賛助金の送金続く

6百73万円もの浄財

「心から感謝申し上げたい」

昨年の5月、新聞「同窓会だより」に振り込み用紙を同封してお願いしてきた賛助金が、今年の3月31日現在6百19人の会員の方から合計6百73万円もの浄財を頂戴することができた。同窓会では、この貴重な資金を極力節約しながら有効に使わせていただくつもりである。

創立百周年記念事業の後、同窓会費(旧終身会費)の納入が激減して年間2百万円近くの赤字が想定されていたので、同窓会の各種の会議で2年間ほど協議してきた結果、昨年より40歳以上の会員の皆様に同窓会費とは別に賛助金を任意でお納めいただくことになった。

昨年5月中旬、振り込み用紙をお送りしたところ、早速多くの方から送金していただき、多い日には1日67人もの会員から振り込みがあった。川島秀治会長は、「このようにな不況の時に、同窓の皆様のご熱意は本当に有り難いことです。心から感謝を申し上げます。この浄財はできるだけ節約しながら、母校と同窓会活動のために長い期間

で有効に使わせていただきます」と語っている。

なお、卒業学年別の納入者数一覧は1面に、また納入者のお名前は6面に、それぞれ掲載させていただいた。

「今回お納めいただけなかった方には再度振り込み用紙をお送りさせていただきますので、よろしくお願いたします」と事務局はお願いしている。

また、会計年度が従来の5月1日～翌年3月31日から4月1日～翌年3月31日と昨年の総会で改正されたので、今年からこの紙面で会計報告案



平成15年5月21日

第 33 号

春日部高等学校

同窓会事務局

発行 川島 秀治

編集 中村 行生

春日部市粕壁5539

直通048 760 1627

FAX048 760 1628

印刷 望月印刷(株)

さいたま市中央区円阿弥5 8 36

同窓会ホームページ

www.os.rim.or.jp/ kasukoga

メールアドレス

kasukoga@os.rim.or.jp

【平成14年度同窓会会計決算報告(案)】

期間：平成14年5月1日～同15年3月31日

歳入総額 19,114,697円
 歳出総額 9,199,214円
 差引残高 9,915,483円(次年度へ繰越)

【歳入の部】

| 項目 | 予算額 | 決算額 | 摘要 |
|-----|------------|------------|-------------------------|
| 会費 | 5,000,000 | 5,626,000 | 新 398、一般 154 年会費 106 |
| 入会金 | 866,000 | 850,000 | 全 398、定 27 |
| 賛助金 | 1,000,000 | 6,733,014 | 619名 |
| 寄付金 | 200,000 | 268,742 | オベラ、茨城会等 |
| 雑収入 | 800,000 | 1,918,897 | 春高グッズ等 |
| 繰越金 | 3,718,044 | 3,718,044 | |
| 合計 | 11,584,044 | 19,114,697 | |

【歳出の部】

| 項目 | 予算額 | 決算額 | 摘要 |
|--------|------------|-----------|---|
| 事務費 | 2,610,000 | 2,028,179 | 通信費、人件費等 |
| 会議費 | 770,000 | 999,442 | 総会、HCD等 |
| 事業費 | 4,820,000 | 4,125,341 | 新会員 316,050 支部費 261,520 新聞 3,110,032 展示室 22,739 在校生 415,000 |
| 慶弔費 | 150,000 | 21,020 | 弔電代等 |
| 財政調整基金 | 1,500,000 | 1,420,188 | 春高グッズ費等 |
| 雑費 | 300,000 | 208,306 | 振替手数料等 |
| 予備費 | 1,434,044 | 396,738 | 新聞購読料等 |
| 合計 | 11,584,044 | 9,199,214 | |

今後会計監査をへて、役員会と総会で審議してもらう
HCD = 総会時のホーム・カミング・デー

新たに副会長2人

昨年の総会で選出
 昨年の総会で、次の2人の副会長が新たに選出された。
 種村 隆久さん
 (高27回、春日部市)
 岩本 敏英さん
 (高33回、越谷市)

ブロック別幹事支部が担当

これで副会長は合計9人となった。

これにより、すでに2月中旬に本校で代表者連絡会議を開いて、対策を協議した。それを受けて、4つの支部では役員会を開き、具体的な対策を現在練っているところである。今後の幹事支部のブロックは次のとおり。

《16年》岩槻、大宮、上尾伊奈、蓮田、浦和ブロック
 《17年》越谷、草加、八潮三郷、野田ブロック
 《18年》久喜、幸手、白岡、宮代、栗橋、鷲宮、菖蒲、北川辺、茨城ブロック

今年度は別稿のように、春日部、庄和、吉川、松伏が担当す

新校長に本橋先生(高16)



本橋恒雄新校長

母校の今年度人事異動

- 転退職の教職員(敬称略)**
- 《全日制》
鈴木宏昭(校長) 退職
大野晴男(事務室長) 退職
近藤俊子(英語) 退職
保科孝(数学) 栗橋高へ
福住讓(数学) 岩槻北陵高へ
島田淳一(地歴) 北川辺高へ
神谷正(英語) 上尾橋高へ
井山康彦(保体・高34回) 熊谷高へ
森田洋子(英語) 退職
田邊久美子(音楽) 任期満了
- 《定時制》
山岸(数学・高38回) 八潮高から
清水誠(英語) 草加西高から
湯浅達也(英語) 三郷北高から
曾我理(英語) 松伏高から
木村恵美子(家) 北川辺高から
平林裕子(国語) 春女高から
野村真理(公民) 大宮商高から
瀬田恵美子(数学) 新採用
番匠圭子(事務主任)
- 《全日制》
新任の教職員(敬称略)
中田智枝子(事務主査) 退職
本橋恒雄(校長・高16回、昭和52年から9年間本校の書道担当教諭) 上尾南高校長から
照内正(事務部長) 大宮商業高事務室長から
榎本貴一(地歴) 栗橋高から
野村秀雄(数学・高23回) 大宮北高から
玉島友弘(保体・高34回) 川口東高から

同窓会費(旧終身会費)納入の方々

- (14年4月1日、15年3月31日)
同窓会費(旧終身会費) 1万円納入者(敬称略)
上尾 浅井勉、望月良平、伊奈 矢島裕司、岩槻 新井正彦、栗原智行、小宮宏、坂巻金三、鈴木健志、関根幸子、竹内敏雄、細田哲、細野英之、三次宣夫、山本幹郎、桶川高橋照夫、春日部 相沢イヅ、相築政和、青木耕一、折原幸作、木村厚雄、京極寿一、工藤倫郎、黒沢慶一、古飯塚末

- 栄、小松原孔昭、佐川健太郎、齋藤重人、齋藤政直、関根久野口浩、武藤義満、森泉弘正、和井田武夫、川口 清谷佳司、坂田健司、戸張凱夫、米津博史、川越 岡田昭文、北川辺 松橋英明、久喜 浅野智明、折原一男、関根悦雄、関根精三郎、田口昌司、船木勝野助、菱沼芳夫、矢島隆 熊谷 笠原勝 栗橋 遠藤幸雄、樋口 悟史 古河 栗野収 越谷 奥野明彦、落合毅、金子智一、

- 神谷廣、倉持巧、島根冬木、田口恵三郎、竹原業一、中野雅也、中村喬、長谷川敦史、波田修、八木橋利雄、谷塚秀男、矢部正平、さいたま 畦上恭彦、石神孝志、大槻茂、小澤哲三、柏田仁、金子幸夫、齋藤恒久、下山健次、鈴木忠夫、関根英俊、千田琢己、田原勉、富永和男、藤沼秀雄、益子幸雄、吉岡修、吉岡一憲、鷲山真 幸手 秋間國夫、飯塚一彦、今井幹明、白岡 内田喜恵、小野目雅樹、岸川康太郎 庄和 小島文男、鈴木 茂、長本昭寿、細井敏明 杉

- 戸 新井哲夫、飯塚公之、栗原一義、古旗勲、蛭田光明、吉村正美、草加 浅井司郎、中田和芳、所沢 大澤守由野、田中山航、渡辺貴之、蓮田 関口茂 羽生 飯村正次、飯能 上井晴夫、宮代 稲山和男、高橋富士雄、増田武夫、谷沢鷹一、谷沢憲一、毛呂山 岸昭生、吉川 上原茂、黒澤進、千島弘己、柳沢秀夫、鷲宮 遠藤由男、オーストラリア 大熊文雄、愛知 平原進 石川 鹿島耕一、茨城 高田晃 大阪 飯塚敏男、神奈川 東出康志、山下清司 京

難関国立大で健闘 現役勢 私大でも伸びる

大学入試

今春の大学入試で、現役勢が国立大に昨年より3件多

- 【現役浪人合格者数】()内は現役数
- 《国立》
北海道4(2) 東北8(1) 宇都宮4(2) 筑波9(5) 埼玉12(8) 千葉13(8) 東京2(1) 一橋9(6) 東京工業3(3) 東京外語2(1) 東京学芸2(2) 東京農工2(1) 電気通信6(1) 横浜国立8(4) 新潟2 名古屋2(2) 京都3 都立5(3) その他19(5) 合計107(54)
- 《私立》
東京理科93(35) 早稲田89(43) 明治84(33) 中央54(29) 法政46(20) 立教44(24) 日本40(18) 慶応31(16) 芝浦29(8) 東京電機20(6) 青山学院17(11) 学習院14(7) 上智14(5) 成蹊11(2) 獨協10(5) 他12(2) 合計718(317)

6月7日(土)に 大宮支部の総会

同窓会大宮支部の今年の総会と懇親会が、6月7日(土)に開かれる。さいたま市大宮地区に住む同窓生相互の交流を深めるため、たくさんの参加を支部役員は期待している。支部内の人数が非常に多いため各会員に案内を出すのが財政的に難しいので、この紙面でご連絡します。参加申込は左記の高橋支部長宅へ電話で。日時 6月7日(土) 18時 会場 さいたま市清水園 会費 1万円 申込 高橋正次支部長宅 ☎663 0306

各地で春高会

- 幸手春高会総会 30人
14年5月19日 ときわや
杉戸春高会母校見学会20人
14年5月26日 春高
八潮春高会総会 28人
14年5月26日 華宝
大宮支部総会 51人
14年6月1日 清水園
宮代春高会総会 41人
14年6月2日動物公園GS
上尾伊奈支部総会 30人
14年6月2日 東武サロソ
三遊亭楽花生が落語会
吉川支部総会 26人
14年6月22日 福寿家
嶋田由美(事務主事) 幸手商業高から
中山浩司(栄養技師) 新採用
- 岩槻支部総会 55人
14年7月7日 イグレッタ
遊馬正(中39回)さんが講演
蓮田春高会総会 30人
14年9月7日 米屋
菖蒲春高会総会 12人
14年9月8日 大浜
鷲宮春高会総会 24人
14年9月28日 西コミセン
県庁春高会総会 82人
14年10月9日ワシントンH
白岡支部総会 32人
14年10月13日 米屋
野田支部懇親会 45人
14年10月19日 紫乃
春風亭朝左久が落語会
松伏春高会母校見学会7人
関西春高会設立総会 16人
- 14年11月26日 春高
春日部春高会総会 46人
14年10月27日 福祉セ
三枝安茂春日部市長が講演
東京春高会総会 54人
14年11月8日 KKRホ
北海道春高会総会 8人
14年11月16日 グランドH
庄和春高会総会 40人
14年11月17日 西公民館
三遊亭楽花生が落語会
横浜春高会総会 19人
14年11月17日 万来軒
栗橋地区春高会総会 40人
14年11月23日 イリス
春高・市川賢一教頭が講演
久喜春高会総会
15年5月25日 ニュー八雲
- 14年11月30日大阪ルシエル
幸手粕中春高会忘年会40人
14年12月14日 義語家
三遊亭楽花生が落語会
北川辺春高会総会 38人
15年2月8日 かたやま
越谷支部新年会 115人
15年2月11日 コミセン
松伏春高会総会 17人
15年3月8日 石塚家
茨城春高会設立総会 27人
15年3月29日 ホテル山水
草加春高会総会 50人
15年4月27日 文化会館
三遊亭楽花生が落語会

春高人物風土記

(20) 高9

高9回 (昭和32) (卒業)

この学年も教育界で活躍した人が多い。栗橋町の秋岡裕さん、高橋潔さん、船木重重さん、山中武士さん、春日部市の井上建さん、野田市の飯塚教央さん、北本市の石井徹さん、岩槻市の稲村英夫さん、菊地清浩さん、長谷川正さん、庄和町の小島昇さん、幸手市の高橋正美さん、杉戸町の野口和巳さん、白岡町の藤沼貞夫さん、蓮田市の正木英雄さん、久喜市の山田良男さん、越谷市の吉澤貞夫さん。

野田市の石川智昭さんは、在学当時は、大正13年誕生の全国でも非常に古い応援団の団長として活躍。現在は、野田市今上で秀覚寺住職を務めている。

幸手市の石塚進さんは、早



昭和31年度の3年1組(当時の新校舎前)

大卒業後、三井生命保険の本社勤務が長く、主に融資などの財務部門で活躍する。首都圏のいくつかの営業所長を歴任し、福井や高松支社の事務長を務める。高松のときは単身赴任の身軽さから休日を使つて八十八箇所の札所を廻つたという。現在は幸手市の県営権現堂公園地権者対策協議会の会長。桜堤と菜の花の名所として例年50万人が訪れる同公園に、万葉の里コーナーも

見据えた教育行政を推進していききたい」と語る。高校時代は剣道部でチームの先鋒を務め、県大会で3位入賞して関東大会に出場。スポーツ万能春日部市の織原照次さんは、市内の武蔵野銀行春日部支店うらで、パブスナック「道」を経営している。

杉戸町出身の奥村一光さんは、在学当時、陸上部を中心に運動部が大変元気があったので、負けじと生徒会長や新

現在は群馬県館林市内で海宝胃腸科外科病院の院長として活躍中。館林市に在住。

さいたま市の勝間周作さんは、在学中陸上競技部の副主将として活躍。同窓会大宮支部の役員で、母校の百年史編纂委員を務める。サイパン島で戦死した父のために、遺骨収集、海外慰霊巡拝に尽力し、昨年は土屋義彦県知事らと埼玉県パラオ諸島慰霊巡拝に参加している。現在は埼玉県遺族連合会会長、県社会福祉協議会評議員、国の戦没者遺族相談員として援護事業に精をだし、平成8年に厚生

さいたま市の河辺栄さんは会社の先輩の薦めで2年前に日本スポーツ吹矢協会に入会。現在3段だが、近々公認指導員の資格をとつて普及活動を行いたいという。スポーツ吹矢はまだまだマイナーだが、老若男女だれでも手軽にできる健康スポーツとして最近マスコミで取り上げられている。胸式、複式呼吸によつて的に矢を命中させてその率を競うスポーツ。15歳〜10歳の位置からマットに矢を当てる爽快感ばかりでなく、複式呼吸によつて大きくゆっくりとしたリズムで酸素を体内に取り入

在は滋賀県大津市に在住。松伏町の島村栄一郎さんは、松伏春高会の副会長。卒業後、種畜牧場(現県立畜産試験場)で研修した後、家業の畜産業に携わる。平成2年から不動産管理業に転職。町での要職が多く、福祉、教育、青少年関係で活躍中。今期オータリークラブ会長。川柳は指南役。断食を定期的に続ける。

岩槻市の杉崎孝さんは、在学中陸上部の主将として、県大会で千五百と五千の優勝。5千では北関東大会で2年時と3年時で連続優勝を果たす。さらに山形県での全国大会では5千で2位に入賞。「東部地区では長距離選手は育ちにくい」というジンクスを打ち破つた実績は大きい。中央大に進学後は、1年3年、4年と3回箱根駅伝に出場し、3年時と4年時に連続区間賞を獲得するとともに、チームの連覇に貢献した。その後、実業団のリッカーミシンに入社し、昭和38年の山口国体で3千障害で日本新記録を樹立した。現在は岩槻市体育協会の会長を務める一方、楓の森スポーツセンターに勤務しながら、ジョギングクラブの指導に当たっている。

奉仕活動に専念。「人に生かされ、生きる」が信条。

岩槻市の田中信之助さんは、松伏金杉小学校校長や春日部柏壁小学校長をへて、埼玉教育事務所長を歴任。その後、地元の岩槻小学校長を務める。その間、県連合教育研究会副会長や全国連合小学校校長の理事も務める。高校時代は、剣道部のチームの次鋒。

久喜市の高木容さんは、永年の建築設計でのすばらしい実績が認められて、平成14年11月に藍綬褒章を受章した。「皇居で天皇陛下に拝謁してお言葉を賜り、大変名誉なことと思っています。今後は微力ですが後輩の育成に努力したいと思います」と語っている。昭和43年久喜市中央で(株)高木建築設計事務所を開業し、同58年に現在の同市上清久に移転する。官庁の設計が主な業務だが、久喜市庁舎大手事務所と企業体)やウエディングパレスニューハ雲(久喜市)を手掛けた。「このような時期ですから、仕事の安定した受注と社員への給料の支払いに苦労しています」といふ。

幸手市出身の新堀茂さんは、千葉大医学部を卒業後、東京女子医大の日本心臓血圧研究所に入る。主として冠動脈疾患などの臨床研修をするかたわら、人工心臓等医療機器の研究に携わる。山梨県立中央病院や関東通信病院、社会保険三島病院などに勤務した後、昭和57年に静岡県三島市に循環器内科クリニックを開業。余暇に、東南アジア諸国や中国、韓国などの人文科学

前八潮市長の藤波さん

杉崎さんは3千障害で日本新

平原さんは県幼稚園連合会長

盛り込んだ新しい公園を作り出すために尽力している。

岩槻市の稲村英夫さんは、春日部大沼中学校長や岩槻中学校長などをへて、県立北教育センター所長兼情報処理センター所長で定年。平成13年に岩槻市教育長に就任し、多忙な日を送っている。変化の激しい社会の中で、教育においても不易と流行を

間部長として頑張つたと振り返る。法大を卒業した後、建材や鉄鋼の商社・山大鉄商(株)へ入社。「決して大きな会社ではなかったが、全国を飛び回り各地に支店を作つて営業活動をしてきました」といふ。現在も同社の専務として頑張っている。たまたま会社の土地が西新宿にあつたので、同地の再開発事業にも参画し、いい体験を味わつたという。

横浜市港北区に在住。

春日部市出身の海宝雄一さんは、大学を卒業後新日鉄(株)に7年間勤める。その後千葉大医学部に入り医師となる。

大臣表彰、今春藍綬褒章を受章。地元でも、諸団体役員や氷川神社氏子の総代を務める。

春日部市の金子昇さんは、市内栄町で(株)金子ガスを経営する代表取締役社長。

北川辺町出身の金田勝治さんは、東芝勤務中に東京テレビ技術専門学校(現東京工科大)を卒業。昭和39年に東京・足立北郵便局へ入局。同50年に、越谷赤山郵便局を開局。趣味の歌、三味線、茶道を楽しむかたわら、平成8年に通信放送大学士を取得。長老楽日の日々にも、郵政公社移行にむけ勉強中。越谷市に在住。

れて血液の循環促進と横隔膜の上下運動で内蔵の諸器官の活性化にも繋がる」といふ。

野田市出身の小糸登さんは、高校時代陸上部のやり投げで活躍。3年時の県大会と北関東大会でもともに優勝。さらに昭和31年の神戸国体で4位に入賞する。卒業後は、キッコマン(株)本社に入社。大阪、京都、神戸、仙台、金沢などの各支店で常にトップクラスの営業成績を収めて、中国四国支店長を務める。言葉のなめらかさと話好きは昔と変わらなく、さっぱりした性格で誰からも好かれるタイプ。現

越谷市の染谷高義さんは、同窓会越谷支部の副支部長。在学中は山岳部に所属し、明大に進みワングル部で全国の山を歩く。家業の地場産業・桐箱製造販売に従事。昭和45年に保護司を受ける。現在県連合会副会長を務める。市会議員を3期務めて、地元のスポーツ・レクリエーション等

自宅や勤務先に先物取引などの勧誘電話がよくかかりますが、毅然とお断りしていただきたいと思います。

関西 両春高会が誕生



関西春高会の設立に集まった人々



茨城春高会を立ち上げた人々

昨年11月30日に大阪府梅田のレストランを会場にして関西春高会が誕生した。昨春関西地区に転動した阿部幸司さん(高44回)が、関西に同窓会組織がないことを残念がって、本部事務局と連絡をとりながら苦勞して名簿を作り、約百50人の同窓生に往復はがきを送った。当日は高3回から高45回と幅広い学年の17人が参加し、高らかに校歌を歌って、再開を誓い合った。当面は若

手4人が事務局を担当する。今年3月29日に茨城県古河市のホテルを会場にして、茨城春高会が発足した。従来古河春高会として活動していたが、今回からさらに範囲を広げて茨城春高会として新たに発足したもの。年度末の忙しい時期であったが、遠く水戸市や日立市からも駆けつけて合計27人が参加。予定の時間を1時間もオーバーするほどの盛り上がりを見せた。

高柳・弓木さんが優勝

同窓会ゴルフ

第48回同窓会ゴルフコンペ

(14年11月14日紫Cこあやめ)
優勝 高柳敏郎(幸手)
2位 高橋明(杉戸) 3位 金子莞爾(幸手) 4位 吉田竹峰(草加) 5位 小糸博(野田) 6位 戸張功(川口) 7位 長谷川仁(岩槻) B G 8位 岩瀬章(野田) 9位 関根慎(春日部)

第49回同窓会ゴルフコンペ

(15年4月3日紫Cこあやめ)
優勝 弓木義彦(白岡)
2位 鈴木忠夫(大阪) B G 3位 鈴木武司(松伏) 4位 細井欽作(白岡) 5位 齋藤勝彦(久喜) 6位 島先良衛(久喜) 7位 福井幸右門(松伏) 8位 岩崎昌蔵(岩槻) 9位 今井渺(越谷) 10位 山下明二郎(宮代) 合計95人

を学んでいる。三島市に在住春日部市出身の野口卓也さんは、東北大学大学院修士課程を終了後、通産省電子技術総合研究所に入る。昭和61年から日本工業大システム工学科の教授(工学博士)。電子技術総合研究所では核融合技術や超伝導送電などの研究をしてきたが、経済の高度成長が過ぎたころから、飽食になつたが幸せになれない現状をみて、科学技術では幸せをつかめないことを悟り、それまでの自分の専門を棄てて、大学では環境問題を研究の対象としている。環境問題に関する常識 たとえば循環型社会などを見直して、本当の環境問題とは何かを研究している。趣味の囲碁は5段の腕前。

岩槻市出身の樋口賢さんは、(株)P H P 研究所で編集長をへて、常務、専務を務める。その間、国際P H P 研究所の専務にも。主に出版、編集の諸課題をテーマに、北海道から沖縄までの講演行脚をする。所長の松下幸之助さんと膝を突き合わせて人間としてどう生きるかを語り合ったこともあるという。現在は同研究所特別参与。滋賀県大津市在住春日部市の平原隆秀さんは、在学当時は柔道部員。市内の成就院住職。平原学園理事長と幼稚園長。埼玉県幼稚園連合会会長と埼玉県私立学校総連合会会長として現在も活躍中。平成6年に教育功労者として藍綬褒章を受章する。

宮代町の深井史明さんは、同町百間幼稚園の経営に携わりながら、百間保育園の理事長として幼児教育に生涯を捧げている。また埼玉県ラオス友好協会副会長として、ラオスに小学校建設、消防自動車等の経済支援を続けて、先般土屋義彦県知事らとラオスに赴き、両国の懸け橋にと活躍中である。昨年も土屋知事に同行してパラオ諸島慰霊巡拝、中国国交30周年記念式典に参加して、国際交流の友好親善に貢献している。

八潮市の藤波彰さんは、昭和56年7月に同市市議会議員に当選し、その後平成元年7月八潮市長に就任し、同13年7月まで行政の長として、生涯学習によるまちづくりを推進する。その間、文部省中央教育審議会専門委員、全国生涯学習市町村協議会副会長、埼玉県生涯学習審議会委員を務めている。平成10年に北京市で開かれた全中国の学生による日本語弁論大会の審査委員を務め、その際講演も行っている。現在やしお生涯学習まちづくり財団理事長、N P O 法人全国生涯学習まちづくり協会副理事長、著書に「わたしの生涯学習」がある。

白岡町の藤沼貞夫さんは、春高3年のとき陸上北関東大会で円盤投げで優勝。高校の体育教師として陸上競技の指導に情熱を注ぐ。北川辺高校長や久喜高校長を歴任。平成14年から埼玉県スポーツ少年団の3代目本部長。同少年団は昨年結成40周年を迎えたが、団員数は6万人を突破し、指導者数とともに全国一位の少年団に成長して、スポーツ王国・埼玉の底辺を支えている。

越谷市の古谷勝司さんは、東京農工大を卒業した後、農水省の研究機関で水稲栽培や雑草防除の研究に従事し、東北農業試験場次長を最後に退職。その後、国際協力事業団から専門家としてフィリピン国立稲作研究所に4年間派遣され、直播栽培技術を指導した。この技術はフィリピン稲作の生産向上に大変役立つと高い評価を得ている。現在は、在職中に得た農業の知識をいかに地元で役立てるか思索中とのこと。

越谷市の松本(鈴木)啓史さんは、幼少のころから近く親戚の養子になる約束で育ち、結婚を機に昭和44年松本市に変わる。日大歯学部を卒業後6年間、新宿伊勢丹歯科室に勤務した後、越谷市内に歯科医院を開業する。本職以上の道具を持ち「プロモデル・電気器具いじりなどの物を作ることが大好き。80歳20本運動」を通して、生涯の健康づくりが目標に。

杉戸町出身の松本裕さんが健在だったら、同期生の動きをほとんど掴んでいたのと言われている。昨年10月惜しまれながら逝去。バンカラなタイプ。明大商学部を出て、品川燃料工業(株)に入り、営業畑一筋。支店長から役員を務める。狭山市に在住していた。越谷市の向佐達夫さんは、

越谷郵便局を振り出しに数局勤め、昭和51年に草加工業団地内郵便局を開局、局長となる。今の状況と違い当時は郵便物が遅く私書箱を設置。この道一筋43年、「郵便局は人との接点」をモットーに精進105局を束ねる埼玉東連会郵便担当の理事を務める。

春日部市の村田勲さんは、春日部駅西口で建設業の(株)ムラタハウジングの代表取締役社長。注文建築をはじめ分譲住宅や店舗内装など幅広く扱う。駅前にMビル5カ所を持つている。

越谷市出身の山下信康さんは、在学中バレー部のエースとして活躍。昭和30年の県学徒総合体育大会で優勝、翌年も県大会で優勝、全国大会では優勝した広島・崇徳高校と大接戦の未敗退した。卒業後、日刊工業新聞社に入社し、定年までの44年間新聞制作を一筋。さいたま市に住み、福祉ボランティアに勤む。

春日部市の吉田重信さんは、高校時代に陸上のやり投げとハードルで県大会に入賞して関東大会に出場。卒業した後、(株)三越に入社。日本橋本店や池袋支店で主に食料品部門を担当する。地域密着型の店としてオープンしたギフトハウス三越春日部の初代支配人を7年間務める。「ありがと」と言える時が一番幸せに思える」という。

宮代町出身の渡辺長文さんは、信州大医学部を卒業した後、母校の小児科に入局。昭和46年に長野県立木曾病院小児科医長に就任。同50年国立

東信病院小児科医長、平成4年に同病院の副院長に。その間、行革のための国立病院間の統廃合計画による新病院建設(現在の国立長野病院)に係わり、大変な苦勞を味わった。平成9年に国立松本病院の副院長に迎えられる。この時は独立法人化にむけての苦勞が多かったという。病氣療養のために平成12年に国立松本病院を退職し、現在は上田市内の病院で検診医などをしながら悠々とした生活を送っているという。上田市に在住。

「私たちの時より進学校として随分有名になりましたが、遠くに住んでいる者には野球部が甲子園に出てくれることが一番うれしいことですが、栗橋町の渡辺裕さんは、報道力メラマンという本業のほかに、昭和63年に仲間8人と街づくり支援組織(株)シーダーをつくる。新規事業や各地の街おこしの企画や手伝いをしようとする種を多くという名前にしたという。各地の文化を紹介する写真集の企画編集をはじめ、河川敷を花畑にする企画などに取り組んできた。

最近では、自治体の景観問題や地域おこしの仕事とポスターなどビジュアルなキャンペーンなども手掛けている。栗橋地区春高会の役員。

この企画記事は、該当学年の有志が集まり、いろいろな角度から協議して掲載する人を決め、編集人と一緒に取材にあたって、記事にしたものである。(文責 中村行生)

当面は別学を維持

共学問題 県教委が決定

昨年3月に埼玉県男女共同参画苦情処理委員から「すべての県立高校は早期に男女共学化をするように」と勧告を受けていた埼玉県教育委員会は、今年3月末に「当面は現状維持」を正式に決めて、この問題に一応の決着をつけた。県教委の報告書では、別学校の現状について「長い歴史と伝統を持ち、県民の高い評価と在校生、卒業生、保護者、地域住民の根強い愛着があり、強く支持されている」とし、その上で「数少ない別学校は多くの県民の強い支持があること、各学校の主体性を尊重する必要が有ることなどから、

(14年5月20日、15年3月31日)
元校長 畑光明、菅野達也
中26 島根守次、村山永喜
中27 藤田龍太郎
中30 市川寿、小川正治、庄子茂樹、矢島春信
中31 飯田豊、上野善康、木村善一、鈴木光位、野中辰雄、増田理吾
中32 高橋信一、中山操
中34 青鹿一郎、石井庄一、関根幸夫、福島茂夫、矢部健夫、渡辺実
中35 台和夫、森田博
中36 大久保利一、土方義雄、中島弘、山本吉蔵
中37 安孫子光、鈴木寿郎、野口辨次郎、六角茂信
中38 小川泰、鈴木守、高花清一、福田健次
中39 内田石峰、岸本英男、斎藤仁、斎藤祐之、品田玄隆、柴崎充男、松田勝、森田壽雄
中40 沖喜久、塚塚保彦、長野裕、茂木重男
中41 秋月浩、飯塚武夫、大島見順、田中幸治、永田浩一、針谷重威
中42 秋山健一、飯塚功、岩井信男、鬼久保健治、川島静雄、佐藤半一郎、柴田賢治、高橋好成、丸山房人、村田実山、山本福蔵、渡辺正之
中43 今西昭一郎、大橋昭菊池四方治、栗原三千男、小堀信雄、島村昭治郎、曾我琢成、中村昭一郎、野村竜、平井悦祐、三須昭、鷲山浄峯
中44 浅井次雄、新井馨、家所柳作、岡野正義、杉山光昭、藤波襄二、菱沼芳夫、麦倉正彦、与川昭、和賀行忠
中45 荒井準幸、榊田和雄、神岡芳雄、小島龍男、小島真、小林二男、豊田実、里見義広、松本清、山崎哲也
中47 秋谷昭治、石川善一、板谷忠重、内田雅夫、薄永幸雄、大熊満、小櫃榮一、柿沼秀男、金子栄、川島秀治、国井脩治、小島利通、斎藤秀夫、杉橋徳三郎、鈴木音吉、鈴木和久、関根祥六、高島郁英、高島正夫、照林利男、富田実

新田敏人、野口猛彦、橋本久、松沢隆正、矢作孝作、山本隆通
中48 金子寿彦、斎藤直正、宮田光雄
推薦 三枝安茂
高1 中47回を含む
高2 秋場士郎、有瀧世界、岩井道也、鬼久保次雄、折原信雄、斎藤文平、鹿間米蔵、関根幹夫、高澤敬、中井捷、野口悦男、原田和夫、藤波篤郎、本田武久、森田昭、矢沢洪三、住猛男
高3 安孫子保、阿部君雄、阿部晴介、荒木貞行、大橋謙芳、岡安正治、折原彰、角田延夫、片野喜彦男、金井喜好、君塚忠男、小沼博之、清水博、高木幹夫、高木秀雄、寺田禎雄、内藤敬之助、中村武男、中村雅博、中山昇、春山勝恵、伏田英雄、松本武、吉川弘
高4 飯塚清、石井津、石塚宏治、石田晃、遠藤幸雄、大島雅夫、大塚洋、大山進、菅野善朗、毛塚登夫、隈部哲

山口正隆、矢部一男、吉川博、高7 新井良春、内田勝久、加藤孝夫、佐竹潔、斎藤俊郎、須田敏男、関根晟、瀬田隆司、染谷宣弘、田中伸宣、戸張弘喜、浜田哲男、林進三、林義人、平沢卓、前野徹志、渡辺茂
高8 青木晋、青木克之、新井徹、荒谷拓男、稲生均、遠藤柳作、大上史郎、笠原仁、金子勝治、小島利夫、小林暢生、小林教雄、斎藤芳男、逆井実、篠田肇、菅谷明、関根健一、関根隆光、高梨悦晴、田中二実夫、田沼睦雄、戸井田熙、中島邦彦、永瀬好邦、長本昭寿、浜田幸雄、松本圭司、村田文生、山本供二、若林宏昌
高9 赤坂健一、新井隆二、石神孝志、石川智昭、小島順一、島村栄一郎、嶋村喜宥、高橋潔、高橋正夫、富田亨、針ヶ谷要、藤波彰、藤沼貞夫、柳瀬正八郎

口悦男、宮本幸男、山名清郷、渡辺博
高13 秋間國夫、安孫子征、秋山幸一、栗竹忠、石井敏光、小川昭二、小森谷英昭、茂田寿夫、須田実、関口勝也、中村登、真々田富男、村田親保、茂木浩、吉田光夫、若海兵馬、高14 石川雅彦、内田孝治、遠藤和夫、川島広造、佐久間健、島村敏男、白石光征、関口茂、中島英治、長島謙臣、松本進、八木橋通夫
高15 太田暉人、岡田征史、奥久保勝臣、清水猛、白石良一、鈴木義昭、福田照雄、藤沼秀雄
高16 秋庭毅、伊能晋、金子和夫、小峰俊厚、斎藤和夫、渋谷道夫、中川晃
高17 安藤光一、井上高正、井原誠一郎、桐ヶ谷庄一、新間隆、関根勇四郎、染谷茂夫、富山昌史、野口淳一、望月淳治、山根正三
高18 浅井勉、飯田眞一、

高23 新井和彦、荒木弘行、飯塚一彦、折原昭、渋谷恒、永田可清、中村和孝、斎島義宣、山崎悦郎、吉井文隆
高24 浅子栄二、大槻茂、岡田昭文、小河原晃、河野充夫、後藤義典、塩谷充範、鈴見智二、永瀬優美、戸張正雄、野竹雅文、比田井裕、谷原正一、高25 乙部宣広、小熊啓司、田上武志
高26 大熊昭、工藤倫郎、斎藤正美、鈴木薫、高橋孝志、前川守
高27 飯島佐敏、小川哲治、小宮宏、種村隆久、田島研一、中村幸彦、根岸正志
高28 石島昇明、落合昭夫、斉木勝、関洋、塚田斎、東福寺厚樹、永見信夫、信田進吾、豊国義道、原嶋久光、張替猛夫、儘田省吾、吉澤俊一
高29 小澤正美、鹿島耕一、坂口明義、高野能弘、竹田明彦、長谷川博、花野井敏雄、榎島晃、宮里良英、宮田隆
高30 浅川喜裕、阿部雅一、荒川賢一、石井禎、石井俊一、大塚治、梶間栄一、加藤清彦、小島幸治、杉林直樹、根岸伸年、武藤義満、山崎利哉
高31 内田徳一、荻野勝、長坂武、中島淳一、森泉弘正、米津博史
高32 浅見昌良、石田和久、井上晴夫、植竹富一、梶原聡、黒川慶昭、島田一、鈴木幸吉、田中和彦、土屋勝博、日坂浩、藤田勲生、真野毅、矢野恵介、山品恒郎、和田照夫
高33 岩本敏英、落合弘、河東田進、郡司勝弘、篠川徹、星野務、望月聡、山口喜移、吉岡修
定1 若狭勇
定2 山崎利夫
定3 藤波利雄、村田弥生
定4 井野仙一、斎藤伝吉
戸辺勇、森林太郎
定6 石田喜子
定12 小川知江、野澤孝寿
定14 小泉匡男、増山征吉
定21 野村三男

会員の寄贈著書(14年度)

中35回 関根将雄『われ飄々』(埼玉新聞社) 中40回 鈴木四郎『戦中派、司馬遼太郎の軌跡』(雄文社) 中45回 故宮本忠雄『現象学的人間学』(L・ピンスワンガ) (X) 訳者、みずす書房『知覚の現象学2』(M・メルロー) ポンテイ共訳、みずす書房、他に15冊 高6回 関口安義『恒藤恭とその時代』(日本工データースクール出版部) 高10回 小原敏彦『燃ゆる大車輪』小野喬と体操ニッポン』(エコー出版) 高20回 北村薫『詩歌の待ち伏せ』上(文藝春秋) 高22回 大野修作『日本漢詩人選集・広瀬旭荘』(研文出版) 高33回

資料提供者(14年度)

土屋信彦『日本版401K確定拠出年金』(共著、すばる舎) 高34回 石崎幸二『袋綴し事件』(講談社ノベルズ) 高44回 片桐仁『ラーメンづつくるひと』(太田出版) 高5回 安武忠正(粕中28回の卒業写真等) 高8回 荒谷拓男(粕中23回生の写真) 高9回 渡辺稔(サツカ一部写真) 高28回 現教員・石島昇明(新校舎建設などの写真約7百枚等) (株)埼玉県埋蔵文化財調査事業団『八木崎遺跡』県立春日部高校関係埋蔵文化財発掘調査報告 県立松山高校同窓会、松韻遙かなり、旧制県立松山中学校同窓生戦没者鎮魂録』

賛助金納入の方々(敬称略)

中42 秋山健一、飯塚功、岩井信男、鬼久保健治、川島静雄、佐藤半一郎、柴田賢治、高橋好成、丸山房人、村田実山、山本福蔵、渡辺正之
中43 今西昭一郎、大橋昭菊池四方治、栗原三千男、小堀信雄、島村昭治郎、曾我琢成、中村昭一郎、野村竜、平井悦祐、三須昭、鷲山浄峯
中44 浅井次雄、新井馨、家所柳作、岡野正義、杉山光昭、藤波襄二、菱沼芳夫、麦倉正彦、与川昭、和賀行忠
中45 荒井準幸、榊田和雄、神岡芳雄、小島龍男、小島真、小林二男、豊田実、里見義広、松本清、山崎哲也
中47 秋谷昭治、石川善一、板谷忠重、内田雅夫、薄永幸雄、大熊満、小櫃榮一、柿沼秀男、金子栄、川島秀治、国井脩治、小島利通、斎藤秀夫、杉橋徳三郎、鈴木音吉、鈴木和久、関根祥六、高島郁英、高島正夫、照林利男、富田実

雄、小島晃、関口朗、関根明、野口多嘉夫、野口啓樹、野村幸雄、服部昭、平澤憲、藤井澄夫、松田純一、溝口信夫、吉住友宏
高5 飯山明、井上安法、石川忠、石川英夫、磯崎幸真、岩井清、江森米蔵、遠藤喜一郎、大熊武夫、鴨田裕次、神田常男、木村良夫、倉持幸雄、桑島昭、後藤均、酒巻八郎、柴田秀、鈴木将幹、高橋明、武井三郎、時田勉、中村清彦、中村行生、中山良吉、西山定男、針ヶ谷忠、半田幸平、藤井利雄、日向武雄、細田英明、松本幸作、松本栄、森田懋男、安武忠正、吉川芳郎
高6 安助秀一、会田昌三、甘粕啓介、今西清、榎本一雄、金子弘、小西啓祐、鹿倉崇広、鈴木徳、田口和夫、高橋司、高橋徹、武井章、中村和夫、野口浩、平本信義、福井幸右、工門、松村勉、森戸乙三郎

高10 岩崎文庫、江森藤男、岡村信行、小原敏彦、衣川国郎、塩野正直、鈴木信行、鈴木捷三、高橋育雄、戸邊賢、中島順、長島富次、西村暢二、野本忠夫、長谷川将、堀切和喜、堀沢秀夫、松金由忠、森仁三
高11 秋山光、石塚精二、奥野明彦、金子信夫、清谷佳司、栗原光治、佐藤猛、斎藤正毅、斎藤洋二、杉田良平、関根脩、染谷道夫、多田弘、高橋靖、高浜裕、知久富男、高橋孝秀、長井隆和、永塚和也、名倉嘉七、細井欽作、町田武、松永勝治、三原元三郎、武蔵信男、山野井長治
高12 新井讓、今井宏、上井晴夫、江原秀直、小川隆義、小川正行、勝木康夫、栗原勝次、久保正弘、沢田俊之、島根延幸、関栄一、関根敦美、田嶋一夫、田島重夫、田中靖男、高野利夫、長浜信行、野

石田恵、榎本彰、岡安正一、小林保、鈴木忠夫、田口修之、橋本真之、藤田繁、東秀昭、松沢龍一、三次宣夫、村田修、茂呂清治
高19 浅子誠一、今井康隆、岡田一芳、岡野昇、神田誠、島田正一、高鹿栄助、近藤登志夫、高梨良一、早瀬幸俊、蛭間光明、深井昭、松江得三、高20 秋場英雄、新井健三、岩崎文雄、川合要、岸昭生、黒沢和芳、榊原利幸、鈴木清、鈴木潤一、高橋照夫、宮本和男、村田哲、山崎和義、山本信夫
高21 飯島保行、伊藤秋男、尾崎英雄、岡安俊樹、加藤和裕、金子英敏、九法正行、関根英俊、鶴岡茂、藤間正、永岡洋治、長谷部健一、山崎道徳、渡辺章
高22 市村克明、小川恒夫、岸松男、塙守彦、林英生、平田一行、福森秀臣、吉田静邦

飯塚一彦、折原昭、渋谷恒、永田可清、中村和孝、斎島義宣、山崎悦郎、吉井文隆
高24 浅子栄二、大槻茂、岡田昭文、小河原晃、河野充夫、後藤義典、塩谷充範、鈴見智二、永瀬優美、戸張正雄、野竹雅文、比田井裕、谷原正一、高25 乙部宣広、小熊啓司、田上武志
高26 大熊昭、工藤倫郎、斎藤正美、鈴木薫、高橋孝志、前川守
高27 飯島佐敏、小川哲治、小宮宏、種村隆久、田島研一、中村幸彦、根岸正志
高28 石島昇明、落合昭夫、斉木勝、関洋、塚田斎、東福寺厚樹、永見信夫、信田進吾、豊国義道、原嶋久光、張替猛夫、儘田省吾、吉澤俊一
高29 小澤正美、鹿島耕一、坂口明義、高野能弘、竹田明彦、長谷川博、花野井敏雄、榎島晃、宮里良英、宮田隆
高30 浅川喜裕、阿部雅一、荒川賢一、石井禎、石井俊一、大塚治、梶間栄一、加藤清彦、小島幸治、杉林直樹、根岸伸年、武藤義満、山崎利哉
高31 内田徳一、荻野勝、長坂武、中島淳一、森泉弘正、米津博史
高32 浅見昌良、石田和久、井上晴夫、植竹富一、梶原聡、黒川慶昭、島田一、鈴木幸吉、田中和彦、土屋勝博、日坂浩、藤田勲生、真野毅、矢野恵介、山品恒郎、和田照夫
高33 岩本敏英、落合弘、河東田進、郡司勝弘、篠川徹、星野務、望月聡、山口喜移、吉岡修
定1 若狭勇
定2 山崎利夫
定3 藤波利雄、村田弥生
定4 井野仙一、斎藤伝吉
戸辺勇、森林太郎
定6 石田喜子
定12 小川知江、野澤孝寿
定14 小泉匡男、増山征吉
定21 野村三男